

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書番号68 ひび割れ注入工	ひび割れ注入工における事前調査の費用算出について、①見積りによる積上げ、②他の積算基準のどちらをお考えでしょうか。②の場合、積算基準の名称を合わせて、ご教示願います。	①②いずれでもありません。必要な費用を算定の上計上を想定していますが、具体的な費用についてはお答えできません。
2	金抜設計書番号76 橋脚切り欠き部充填工 アンカー工	橋脚切り欠き部における鉄筋探査の算出について、①NEXCO積算基準書32-18鉄筋位置調査工(施工区分：あと施工アンカー)による積上げ、②他の積算基準のどちらをお考えでしょうか。②の場合、積算基準の名称を合わせて、ご教示願います。	①NEXCO積算基準書鉄筋位置調査工(施工区分：あと施工アンカー)による積上げを想定しております。
3	金抜設計書番号76 橋脚切り欠き部充填工 アンカー工	橋脚切り欠き部における鉄筋探査の算出について、面積は、幅350mm(図311：排水管スリット詳細図)×延長でしょうか、もしくは、異なる想定でしょうか。異なる場合はその算出をご教示願います。	幅350mm(図311：排水管スリット詳細図)×延長 とお考えください。
4	閲覧資料(数量計算書) 第5編 北内房線橋 P3-10	「鉄筋探査工、下地処理工」の数量は、「タイプ1(2か所)=2.93m ² 、タイプ2(1か所)=1.9m ² 、タイプ3(2か所)=4.51m ² 」です。しかし、この合計は2.93m ² と記載されており不整合と考えられます。またこのため、数量総括表(p3-1)では、「鉄筋探査工2.93m ² 、表面処理2.93m ² (上り線)」と、不整合な値が記載されています。どちらの値を用いるのでしょうか。ご教示願います。	令和5年5月25日付回答書のとおり、9.34m ² とお考えください。